

みどり とてび

no.158

2012年(平成24年)
7月20日発行

この樹どんな樹? 見に行こう! / サイカチ(自莢)
みどり探訪 / 東京女子大学の珍しい樹木
緑の歳時記 / トゲミノキツネノボタン
特集 / 募集「後世にのこしたい杉並の屋敷林」
講演会「原風景としての屋敷林」
みどりの窓 / 緑化助成制度・みどりの実態調査
「和田さくらの坂公園・与謝野公園」開園
「みどりのイベント2012」開催
園芸ワンポイント / キンカン

この樹どんな樹? 見に行こう!

サイカチ(自莢)

古くから地域の方々にお祖師さんとして親しまれている妙法寺の山門近くに、イチョウと並んで幹周りが2.2mもある大きなサイカチの樹があります。

この樹の特徴は、幹や枝にある大きな鋭い刺です。大きいもので10cmぐらいの長さがあります。何本にも枝分かれをしています。この刺は枝が変形したものだそうです。

初夏には、淡黄緑色の小さな花を房状につけます。

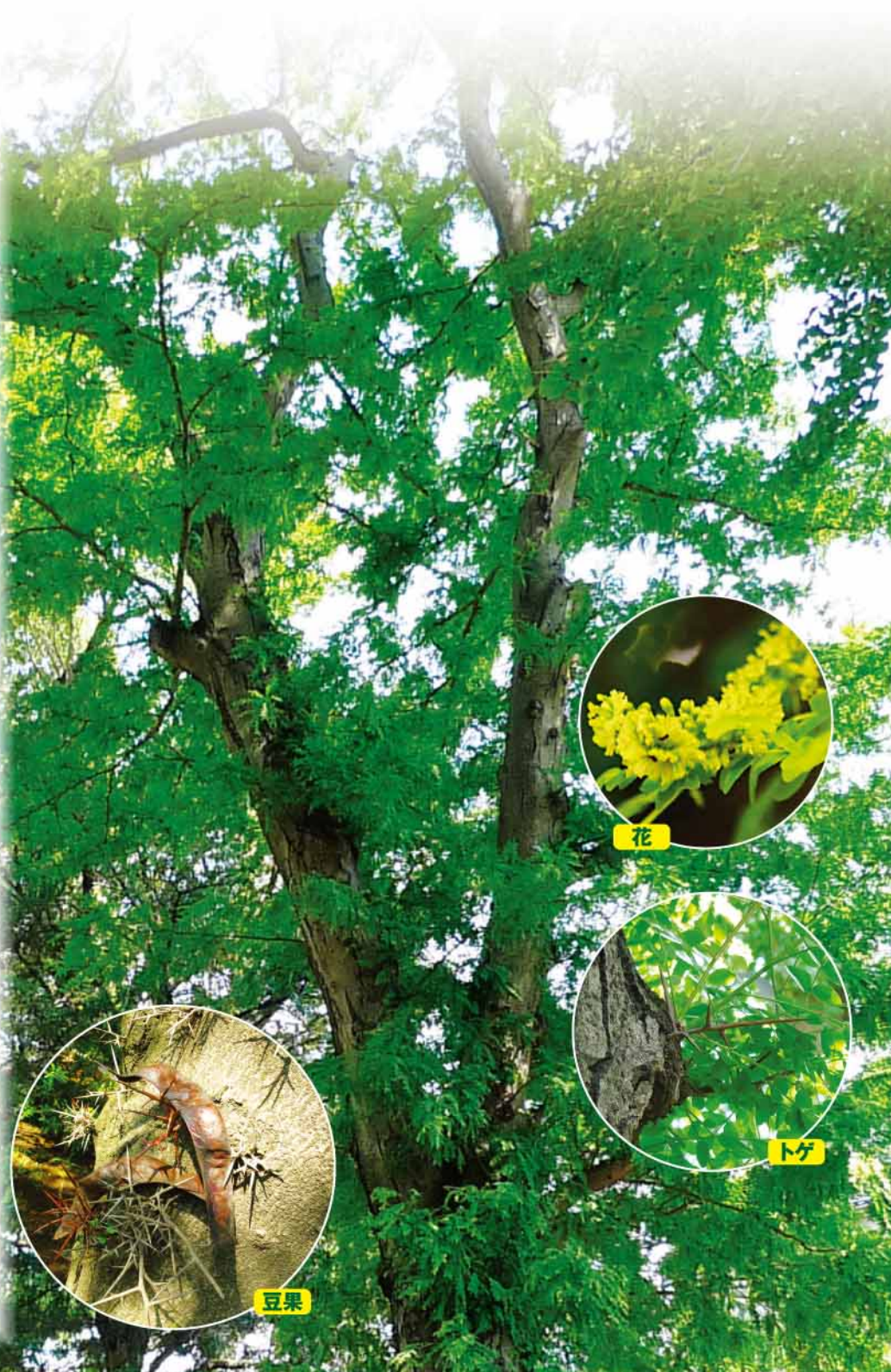
マメ科植物のため、さやをもった種子で、サポニンを含み、昔は石けんの代用として使っていたようです。

また、サイカチの幹からは樹液がにじみ出てくるのが良くおきます。樹液食の昆虫の好適な餌となり、カブトムシやクワガタムシが良く集まります。このため、これらの昆虫を「サイカチムシ」と呼ぶ地域もあるそうです。

サイカチといえば、青梅街道に面した区役所の一角にも植えられています。これは江戸時代に街道の半里塚として植えられたものです。

現在、区役所の前に植えられているサイカチは、この由来を後世に残すべく、新たに植えられた三代目の樹です。

私たちの生活の中に今も身近に残っている「みどり」がどんな樹か、見に行ってみませんか?



みどり探訪

東京女子大学の 珍しい樹木



東京女子大学の正門を入ると、みどりの芝生と正面の白亜の本館が、まず目に入ってきます。その正門をぬけて右側に進むと、幹周り3m前後の2本の立派な木があります。

1本は樹高16.6mの「キタゴヨウマツ」で、自然風に剪定されおり、洋風キャンパスにとっても良く似合っています。

その隣にある「アトラスシーダー」は樹高が23mもあり、枝や葉がこんもりと茂って、涼やかな場を作り出しています。

また、24号館裏手には「クロガネモチ」があります。この木は、関東以西に生育する南方系の樹種です。

このクロガネモチは樹高12.7m、幹周り2.6mもある大木で、このような木を都内で見かけることは大変珍しく、杉並随一の大きさです。樹肌が滑らかで綺麗なことに、思わず見とれてしまいます。

東京女子大学は1918年に創立し、1924年に多くの自然に囲まれた現在の地、善福寺へ移転してきました。敷地面積約3万坪のキャンパスに植栽された樹木の大半は、教職員や学生による献木だそうです。

杉並区では、特に大きな樹木(巨木)、珍しい樹木(珍木)、良好な景観を形成している樹木(景観木)を貴重木として指定しています。樹齢100年程度と推定されているこの3本も貴重木として指定しています。

長い年月の間、このキャンパスを見守ってきたこれらの樹木は、ここで過ごしてきた多くの卒業・在校生たちにとっても、想い出深い木々となっていることでしょう。

※こちらの貴重木の見学については、事前に東京女子大学(03-5382-6317)へお問合せください。



▲(右)キタゴヨウマツ
(左)アトラスシーダー

▲クロガネモチ

緑の歳時記 区内でよく見かける帰化植物

トゲミノキツネノボタン (刺実の狐の牡丹)

キンポウゲ科 / ヨーロッパ原産の越年生草本

全 体にほぼ無毛で、茎は中空※1、基部からまばらに分岐し、高さ30~50cmになります。

葉は3裂または浅裂し、不揃いの鋸歯があります。根生葉※2と下部の葉には長い葉柄があります。

春から夏にかけて葉腋に直径1.5cmほどの黄色の5弁花をつけます。

果実は15個ほど集まってつき、それぞれが扁平で長さ4~6mm、先端がくちばし状に湾曲し、刺状の突起があります。

1915年に仙台市内で発見され、その後西日本で多く発生しています。

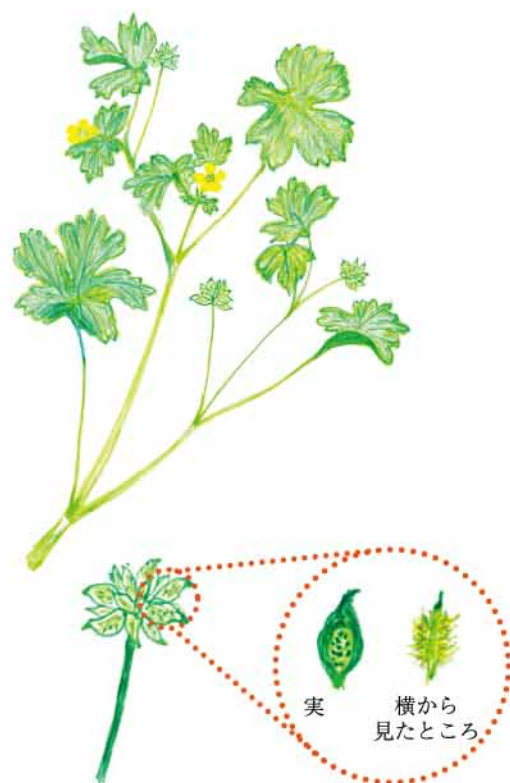
区内では善福寺川の御供米橋(オクマイバシ)より上流の草地で多く見ることができます。

和名の由来は在来種のキツネノボタン(野原にあって葉が牡丹の葉を思わせる)からきていて、実に刺状のものがあることからです。

在来種は実がコンペイトウのようで可愛いのですが、こちらの刺は何かの役に立っているのでしょうか?

チュウクウ
※1 中空: 中が抜けていて管状の形

コンセイヨウ
※2 根生葉: 根際から出る葉





推薦

してください

後世にのこしたい杉並の屋敷林

まとまった緑である屋敷林は〈清浄な空気の供給〉
 〈ヒートアイランド現象の緩和〉〈武蔵野の面影を今に伝える〉など
 様々な恩恵を私たちに与えてくれます。
 あなたが後世にのこしたいと思う、杉並の屋敷林を教えてください。



募集期間 平成**24年4月1日**～**8月31日**(必着)

募集対象 あなたが後世にのこしたいと思う杉並区内の屋敷林

屋敷林とは、戸建て住宅と一体となった敷地内にある概ね高さ3m以上の樹木(自然仕立て:樹木本来の樹形を損なわないもの)が30本以上ある樹林とします。ただし、集合住宅の敷地にあるものやお寺、神社の林等は除きます。

応募資格 区民および区内在勤・在学者(自薦・他薦問わず)

- 提出物**¹
1. 応募者の連絡先(住所・氏名・電話番号またはメールアドレス)
 2. 屋敷林の所在地
 3. 推薦理由(状況がわかる写真等あれば添付)

提出先 郵送・持込 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 杉並区役所みどり公園課みどりの計画係
 F A X 03-5307-0697
 メール koen-k@city.suginami.lg.jp (受信専用)

選考発表 応募された屋敷林から選考委員会(有識者による外部委員)により10件程度の表彰対象を選考
 平成25年3月(予定)に、広報、パンフレット等により発表

記念品・賞² 応募者:記念品
 受賞した屋敷林の所有者:賞状・記念品

問い合わせ 杉並区役所みどり公園課みどりの計画係 電話:03-3312-2111(代)

¹…提出物は返却いたしません。

²…応募者への記念品は応募件数にかかわらずお一人様1品といたします。



講演会



原風景としての 屋敷林

～杉並のみどりの今昔～

暑い夏、私たちに涼しい木陰を与えてくれる「みどり」。

「みどりが多い杉並区」という実感を支えているのは民有地の「みどり」です。その中でも屋敷林の果たす役割は大きなものです。

屋敷林とは、杉並区がまだ農村だったころ、武蔵野を吹く冬の空っ風から家屋や畑を護るためや、材木や堆肥などの材料となる生活必需品を得るために植えられた樹林のことです。区内に今も残る屋敷林は、その名残であり、杉並区の原風景となっています。

そのような昔の面影を今に伝える屋敷林を中心に、「みどり」や「みどりと人との関わり」を振り返ります。

杉並区では、屋敷林を区民共有の貴重な「みどりの財産」と考えています。そんな屋敷林を、将来にわたり守るためにできることを、皆さんも一緒に考えてみませんか。

- 開催日** 平成24年8月10日(金)
午後2時30分～午後4時
- 場所** セシオン杉並 第8・9集会室
- 内容** 昭和時代のなつかしい杉並のみどりについて(講演会)
- 講師** 東京農業大学客員教授 松田 輝雄 氏
- 定員** 60名程度
- 対象** 区内在住・在勤・在学の方
- 受講費** 無料
- 申込方法** 往復ハガキ(一人1枚)に「参加希望講演会名・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号」と、返信面に「返信先の住所・氏名」を書いて、みどり公園課みどりの計画係へ
※小学生以下の方は、保護者の氏名(フリガナ)・年齢も書いてください。
- 抽選結果通知ハガキは、8月3日(金)に発送します。**
- 申込締切** 8月1日(水)まで(必着)



講師 プロフィール

松田 輝雄

Teruo Matsuda

- 元NHKエグゼクティブアナウンサー
入局当時は「おはよう広場(現:おはよう日本)」総合司会、「趣味の園芸」などのキャスター担当
現在はフリーとなり、テレビ・ラジオで活躍中
- 小学校から高校まで杉並で学び、現在も区内在住
昨年度まで、すぎなみ地域大学学長としても活躍
- NHK文化センター「森と沢への自然散歩」講師、樹木医

TEL.166-8570

お申込み
お問合せ

杉並区阿佐谷南1-15-1 杉並区役所 みどり公園課みどりの計画係
TEL.03-3312-2111(代表)

緑化助成制度が4月より大きく変わりました

平成24年4月1日から生けがきなどの
接道部緑化や屋上・壁面緑化の助成制度が
大きく変わりました。
主な改正点は、次の2点です。

- 個人向けと法人向けの2種類の基準単価と限度額を設定(フェンス緑化は個人法人の分けはありません)
- 個人の大谷石塀の撤去費(ただし緑化部分)について基準単価を増額

助成は新たに工事をされるものが対象で、事前の申請が必要です。各助成制度をご利用になるには条件があり

ますので、お気軽にみどり公園課みどりの事業係へご相談ください。
※助成金は当該年度の予算の範囲内で行い、交付は申請順に決定します。

みどりの実態調査が始まります

区内のみどりの状況を把握するため、5年ごとにみどりの実態調査を実施しています。
樹木、樹林などの現地調査で調査員がお宅へ訪問することがありますので、ご協力をお願いします。

和田さくらの坂公園 与謝野公園が開園しました



和田
さくらの坂公園

「和田さくらの坂公園」(和田1-54-28)が、3月31日に開園しました。面積が約2130㎡あるこの公園は、上段と下段の広場が園路とスベリ台で結ばれており、岩登りなどでもできる特徴的な公園となっています。

また4月28日には、「南荻窪中央公園」(南荻窪4-3-22)が「与謝野公園」としてリニューアルして開園しました。

かつてこの地には、歌人・詩人として著名な与謝野寛(鉄幹)・晶子夫妻が過ごした家がありました。昭和57年に「南荻窪中央公園」として開園しましたが、このたび、与謝野夫妻が過ごされた頃の雰囲気を楽しめるように拡張・再整備をしました。園内には、二人が詠んだ歌碑などもあります。

今後は区民の皆さんと一緒に、地域に愛される公園となるよう育てていきます。公園の近くにお立ち寄りの際は、ぜひお越しください。



与謝野公園

みどりのイベント開催!

あそびを通じて、身近にある「みどり」に親しみ、みどりと遊び、みどりについて考えてもらう「みどりのイベント2012」を5月19日(土)、柏の宮公園(浜田山2-5-1)で開催しました。

当日は天候にも恵まれ、延べ4,000人の方にご参加いただきました。

本イベントは、地域の緑化活動に取り組むボランティア団体や区内の造園事業者有志をはじめ、浜田山町会・浜田山商店連合会・杉並区(みどり公園課)が、みどりと関係する18の企画を出展しました。

工作、展示、茶道体験等の様々な企画で、大人も子どももみどりと触れ合い楽しんだ一日となりました。



なみすけも参加



茶道体験



樹木板づくり

みどりの相談所の先生に聞く

園芸ワ・ポイント

指導：澤地家治 先生

みどりに関する相談は 塚山公園みどりの相談所

☎03-3302-9387

杉並区下高井戸5-23-12

毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分

休所日：年末年始(12/29～1/3)



キンカン (ミカン科)

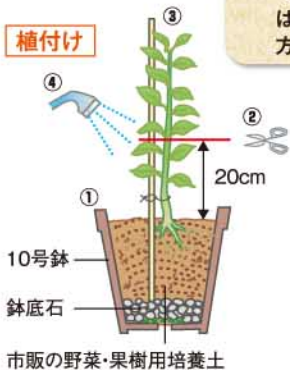
● キンカンは柑橘類の中で最も鉢植えに向いています。容易に栽培ができ、病害虫にも強く、1本で実がつかます。また、実つきが早く、植付け後2～3年で実がなります。そこで今回は、屋上やベランダで手軽に楽しめるよう、鉢植えでの育て方について紹介します。



● 植付け

- ① つぎ木部より上に土がかぶらないように植えつける。
- ② 苗木の場合、20cmの高さで切り詰めると、そこから骨格となる枝が発生する。
- ③ 支柱にしっかり誘引する。
- ④ 植え終わったら、たっぷりと水をやる。

植付け



● 植替え

水がしみ込みにくくなったから植替えのサインで、おおよそ1年おきに行う。

植付けと同様にして、一回り大きな鉢に植え替える。

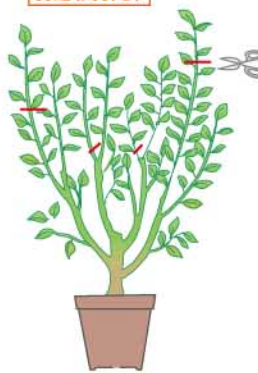
鉢を大きくしたくなければ、割り箸などで根鉢を崩し、根を切り詰めてから同じ鉢に植え替える。

すきまにも用土を入れ、棒でよく突き込む。

植替え



剪定(間引き)



● 剪定(間引き)

剪定は、遅くとも発芽前に終わらせる必要がある。木の姿はほうき作りに整枝する。込み合った枝は、多くても3本までとし、残りは間引き剪定する。

● 摘果・摘花

しっかりと実を残し、小さい実、弱い実を取る(摘果)作業をする。

時期は実の多くが小指大になった頃で、新梢5cmごとに実を1個残し、摘果後に咲いた花は全て取る。

さらに、8月下旬過ぎに形の良い大きめの実を残すようにし、あとは摘み取る。

● 肥料

春と初冬に油かすを、夏と初秋に緩効性の化成肥料(三要素等量)を鉢の縁に置き、少し埋めておく。

● 年間管理表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状態	果実成熟						開花 果実肥大		開花			果実成熟
水やり	土の表面を乾かさないう程度に(冬場は午前中)						1日1回			土の表面を乾かさないう程度に		
肥料			油かす			緩効性化成肥料			緩効性化成肥料		油かす	
病虫害	ダニ類、カイガラムシ		そうか病、アブラムシ			黒点病、アゲハチョウの幼虫、ハマグリガ、ダニ類、カイガラムシの防除						
主な作業	収穫	剪定、誘引	苗木の植付け、植え替え					苗木の植付け、植え替え			摘果、摘花	収穫

みどりの新聞(縮刷版)を発行しました

区の緑化情報紙として昭和48年11月に「みどりの壁新聞」として第1号が発行されて以来、みどりの新聞は40年目を迎えました。平成21年度(No150)までに発行したみどりの新聞を、第1巻

(No1～No50)～第3巻(No101～No150)の縮刷版としてまとめ、発行しました。

区役所区政資料室、図書館、塚山公園および井草森公園の図書コーナー等に置いてありますので、ぜひ、ご覧ください。

編集後記 「みどりとひと」は、みどりのボランティアと協働で編集しています。



- 春から夏にかけての散歩では足元の帰化植物が多く目につきます。繁殖力の強さと種類の多さに驚いています。(山)
- 東京女子大学のクロガネモチは大木で、なめらかな樹肌に魅せられました。(石)
- 散歩の途中の一休み。木陰を吹く風は、どうしてこんなに気持ちがいいのでしょうか…みどりに憩う季節になりましたね。(朋)
- 万緑の美しい季節です。どこの通りも爽やかに心楽しい散歩道です。おいに歩きましょう。(大)
- 今号は偶然にもトグツグしい誌面になりましたが、編集会議はまーるく静かにすすみました。(茂)
- 編集に携わって数年。区内のみどりに触れるにつけ、「四季を感じるができるまちづくり」の大切さを痛感する今日この頃です。(羽)
- 近くの屋敷林の脇道を通ると、暑さも和らぎ気持ちよいフィトンチッドのような気配が感じられます。(中)
- 道ばたにも思いがけない可愛い花々に巡り会えるウォーキングが楽しみな季節です。(原)



みどりの新聞 みどりとひと158号 平成24年7月20日発行

編集/みどりのボランティア
編集・発行/杉並区都市整備部みどりの公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111
「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

